

1. 開催日時

2024 年 3 月 25 日（月曜日）13 時 00 分開始 15 時 00 分終了

2. 開催場所

本財団 第 3 会議室（東京都中央区明石町 8-1 聖路加タワー40 階）

3. 出席者

〔理事〕 佐々木泰樹、富永譲、長島明夫 （理事総数 3 名、出席理事数 3 名）

〔監事〕 中野竹司、大和寿子 （監事総数 2 名、出席監事数 2 名）

4. 議事

- | | |
|-------------------------------|--------|
| 1. 2023 年度下半期事業報告（代表理事業務執行状況） | ……報告事項 |
| 2. 2024 年度奨学金選考分科会報告および承認 | ……決議事項 |
| 3. 事務局業務の委託に関する承認 | ……決議事項 |
| 4. 2024 年度事業計画・予算計画の承認 | ……決議事項 |
| 5. 2024 年度スケジュール案 | ……決議事項 |
| 6. 臨時評議員会招集の承認 | ……決議事項 |
| 7. 交通費支給規程の改定 | ……決議事項 |
| 8. その他 | |

5. 配付資料

- 1 事業報告書（2023 年度下半期）
- 2 2024 年度奨学金選考分科会報告書
- 3 事務局業務委託契約概要
- 4a 2024 年度事業計画書
- 4b 2024 年度資金調達及び設備投資の見込みについて
- 4c 2024 年度予算計画書（収支予算書・収支予算書内訳表）
- 5 2024 年度スケジュール案
- 6 2023 年度第 2 回臨時評議員会提案概要
- 7 交通費支給規程改定案

6. 議事の内容

上記の通り出席があり、理事会が有効に成立するため、佐々木泰樹理事長が議長となり開会を宣し、以下の通り議事が進められた。

- ①議長より、2023 年度下半期事業について、資料 1 の事業報告書を参照しながら報告が行われた。質疑応答を経て、内容が確認され、代表理事の職務執行状況報告が完了した。
- ②議長より、2024 年度奨学金選考分科会報告（建築／デザイン・工芸美術／医学／口語詩句）に関する説明が行われ、資料 2 の内容通りの奨学生採用が、満場一致で承認された。
- ③議長より、事務局業務の委託契約について説明が行われ、満場一致で承認された。なお、当該契約において長島明夫理事は利益相反取引となるため、決議には参加していない。
- ④議長より、資料 4a、4b、4c の 2024 年度事業計画・予算計画について説明が行われ、質疑応答を経て、満場一致で承認された。
- ⑤議長より、資料 5 の 2024 年度スケジュール案について説明が行われ、満場一致で承認された。
- ⑥議長より、本日の理事会決議を踏まえた臨時評議員会議案の説明があり、満場一致で承認された。
- ⑦議長より、資料 7 の交通費支給規程の改定について説明が行われ、満場一致で承認された。

以上をもって、議事の全部が終了したので閉会した。

事業報告書

自 2023 年 10 月 1 日
至 2024 年 3 月 31 日見込み

報告者 公益財団法人佐々木泰樹育英会
理事長 佐々木泰樹

1. 公益事業の状況

イ. 収益（万円未満四捨五入、以下同じ）

本財団は現在、NEWS 京橋および NEWS 築地の賃貸不動産 2 棟（2022 年 5 月 24 日付で佐々木敏子氏より寄付）の特定資産運用益を事業の財源としております。報告期間中の収益としては、特定資産運用益 4,632 万円（不動産管理経費控除後、入金ベース）を予算計上していたところ、実績 5,209 万円となる見込みです。

ロ. 2023 年度奨学生に対する奨学金給付〔公益目的事業〕

2023 年度奨学生は、建築 9 名（うち学部生 0 名）、デザイン・工芸美術 5 名（うち学部生 1 名）、医学 4 名（うち 1～4 年生 2 名）、口語詩句 14 名（うち中学生・高校生 0 名）の計 32 名が採用されています。奨学生の異動等は以下の通りであり、報告期間中の奨学金給付額は、合計 1,833 万円となる見込みです。

＊デザイン・工芸美術奨学生 1 名：2023 年 10 月から 2024 年 3 月まで半年間の休学のため、奨学金給付を停止（2024 年 4 月の復学に際し、本人より奨学金給付再開依頼書が提出されたものの、並行して応募した 2024 年度奨学金で採用されたため取り下げ）

＊口語詩句奨学生 1 名：2 月に投稿規定（毎月 2 作以上の投稿）に違反したため、3 月末の奨学金給付（41,674 円）を停止予定

ハ. 2024 年度奨学生募集〔公益目的事業〕

2024 年度奨学金は、2023 年度奨学金に引き続き、建築、デザイン・工芸美術、医学、口語詩句の 4 分野で募集・選考し、以下の結果となりました。

区分	書類応募者	面接審査実施	奨学生採用	採用率
建築	84 名（78 名）	18 名（21 名）	9 名（9 名）	11%（12%）
デザイン・工芸美術	21 名（23 名）	6 名（7 名）	3 名（5 名）	14%（22%）
医学	36 名（35 名）	5 名（4 名）	3 名（4 名）	8%（11%）
口語詩句	43 名（34 名）	—	16 名（14 名）	37%（41%）

※括弧内前年度

この選考分科会報告の内容について、本理事会で審議の上、決議予定です。

二. 口語詩句分野 [公益目的事業]

口語詩句分野では、奨学金事業に加え、口語詩句賞による表彰事業を行っています。第 5 回となる 2023 年度は、11 月に募集・選考、12 月に授賞式を開催し、下表のとおり 8 名を表彰、賞金合計 210 万円を支給しました。

年度	応募者	新人賞 (100 万円)	優秀賞 (50 万円)	奨励賞 (10 万円)	受賞者合計
2023 年度	37 名	1 名	1 名	6 名	8 名
2022 年度	30 名	1 名	2 名	7 名	10 名
2021 年度	47 名	1 名	未設	6 名	7 名

今回から賞の概要や受賞作品、受賞者コメント等を掲載したプレスリリースの発行を始めましたが、賞の結果は、新人賞受賞者の吉沢美香さんの出身地・青森県の『東奥日報』(2023 年 12 月 27 日付朝刊文化面) で大きく紹介されるなど、一定の反響を得ています。

口語詩句奨学金および口語詩句賞の募集・選考のためのプラットフォームとなる口語詩句投稿サイト 72h では、投稿作品のレベル向上および選考委員の負担軽減のため、この 3 月より、毎月の投稿制限を 7 作までとしました(それ以前は 15~60 作)。またそれと合わせ、今後のよりよい利用環境構築を意図して、利用規約および利用案内を刷新しました。今年度開始の SNS (X および Instagram) と連動し、引き続き事業の発展に努めています。

2020 年度開始の小冊子『ことばの力詩集』も継続して発行しています(奨学金事業・表彰事業に付随する公益目的事業)。月刊の通常号(現在 40 号、基本 500 部発行)に加え、口語詩句賞および口語詩句奨学金をまとめた別冊(基本 1000 部)を発行し、口語詩句の投稿者をはじめ、文学系団体やメディアなど各所に配布しています。

ホ. 助成事業

本財団の公益目的事業を推進する助成事業としては、前述の口語詩句賞のほかに以下のものがあります。

①建築研修旅行の費用助成

建築奨学金事業に付随するものとして、2022 年度に引き続き、建築奨学生研修旅行の費用助成を行いました(5 回目)。今回はブラジルを訪問先とし、建築奨学生 9 名が全員参加して、2024 年 2 月 25 日~3 月 8 日まで 13 日間の日程で実施されました。事前の旅行計画については経費の面を中心に事務局で必要な検証と指示をしましたが、従来義務づけていた旅行後の報告書(「樹林会」冊子)の提出は、奨学生の自主性に任せて廃止されています。2024 年度も同様の方針で、奨学生の希望を受け次第、助成の検討をする予定です。

②財団交流企画

本財団では、公益目的事業の一環である奨学金給付通知書授与式、口語詩句賞授賞式のほか、奨学生交流会や財団新年会など、各種会合の定期開催を通じて、財団活動の活性化を

図っています。特に世代や分野を超えた奨学生同士の交流機会である奨学生交流会は、本財団の特長の一つかつ重要な行事ですが、今年度は建築奨学生の企画に基づき、重要文化財である自由学園明日館で10月28日に開催されました（出席者37名、会場費用459,600円）。また、今年度は新年会を開催しておりませんが、3月28日に帝国ホテルで開催予定の奨学金給付通知書授与式には役員・評議員も招待しており、新たな奨学生とともに財団の交流を深める機会にできればと考えております（出席者50名、会場費用94万円を想定）。

③その他

公益財団法人としての本財団の各事業を推進することを念頭に、引き続き検討を行ってまいります。今後新たな公益目的事業などを計画する場合は、事業計画について関係各所と協議の上、必要に応じた機関決定を経て、事業の変更認定申請等を行うものとします。

へ．予算達成状況

上期同様、事務局機能充実のためのスタッフ増員の影響で、業務委託費が超過していますが（年間予算240万円に対し、2月末時点で600万円）、そのほかは全体としてほぼ予算どおりに推移しています。あらためて2023年度の年次事業報告として整理し、2024年5月の定時理事会で報告いたします。

2. 特定資産の運用状況

本財団の賃貸不動産2棟の貸付・管理はサブリース株式会社に委託しています。2棟合計22室（NEWS京橋14室、NEWS築地8室）のうち、現時点で空室はNEWS築地の1室のみです。2023年度第9回臨時理事会で決議されたNEWS京橋の修繕工事（静脈認証装置の交換、見積額651万円）は2024年度実施予定です。

3. インボイス制度への対応

本財団では現在、インボイス発行事業者の登録申請中です（2024年4月1日～）。本財団は2016年の設立以来、現在まで非課税事業者であったため、インボイス発行事業者にも未登録でしたが、2022年度の賃貸不動産の寄付を受け、2024年4月より消費税の課税事業者となるため、それにとりあう登録となります。

ト．事務局業務の委託

本財団の事務局業務については、トゥループロパティマネジメント株式会社と業務委託契約を締結しています。第9回臨時理事会決議のとおり、2024年1月1日付で、毎月の委託料が税別10万円（人件費別）から税別35万円（人件費込）に変更されました。2024年度はこの事務局業務の一部を、本財団との直接契約というかたちで、長島明夫理事に担っていただくことを計画しており、それについて本理事会で決議予定です。

以上